

## 愛知県震度観測・調査報告書－第40報－の概要

### 1 調査の概要と目的

この調査は、地震動の伝わり方や地域特性を明らかにするため、県内全市町村に設置している計測震度計による震度情報ネットワークの震度観測データ等を活用して、2020年1月～2020年12月に発生した地震と震度に関する情報をまとめるもので、防災対策の基礎資料、県民の地震に対する理解を深めるために活用されることを目的として報告書を作成している。昭和56年より1冊／年で発行しており、本書で40冊目となる。トピックスとして、南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応及び電磁気を用いた地下構造調査法についての解説を掲載した。

### 2 愛知県震度観測・調査報告書－第40報－の概要

#### (1) トピックス

##### ・海域観測網について

地殻変動観測等の地震に関する観測の種類についてまとめた上で、地震・津波観測監視システム（D O N E T）や、日本海溝海底地震津波観測網（S - n e t）といったケーブル式海底観測網や、海底地殻変動観測（G N S S - A）といった海域観測網の特徴について解説し、新たに整備が進められている南海トラフ海底地震津波観測網（N - n e t）による海底観測網の空白域の解消など、今後の海底観測網について述べている。

#### (2) 震度観測資料

##### ア 愛知県における地震

2020年に、県内のいずれかの市町村で震度1以上が観測された地震の発生は42回であり、震度4以上が観測された地震の発生は1回であった。

##### イ 国内の主要な地震

2020年に、国内で被害を伴った地震の発生は5回であった。

##### ウ 世界の地震

2020年に、世界で人的被害を伴った地震の発生は16回であり、死者が100名を超える海外の地震の発生は1回あった。

### 3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県民が自由に閲覧できるように公立図書館、県民相談・情報センター等に配付し、地震についての理解を深めてもらう。